

精神科

症状ごとと治療法様々

今回の「病院の実力」は、精神科の治療実績を取り上げた。統合失調症、うつ病、不安障害、アルコール依存症など、様々な精神疾患が治療対象だ。

者の単剤化率を回答した医療機関も一部ある。「認知行動療法」は、患

者の物の考え方や受け止め方の癖を、医師や心理士との面接を通して修正する精神療法。通常は1回30分以上、十数回〜20回程度行う。うつ病にこの治療を行ったかどうかを表に示した。「SST」は、病気で低

下したコミュニケーション能力などを向上させる方法。「目を合わせて話す」「手を使って表現する」など会話のコツを練習し、金銭管理や適切な服薬法など、日常生活に不可欠な技能を取り戻す。統合失調症への治療実績を表に示した。

「家族療法」は、患者本人だけが治療を受けるのではなく、家族を一つの単位とみて治療を進める方法。カウンセリングで家族に病気の知識を深めてもらい、家族関係の修復などにつなげる。依存症にこの治療を行ったかどうかを示した。

病院の実力

広島編 53

「新規患者数」は、2011年に初診で来院した外来と入院の精神科患者数。病床がない医療機関は、外来患者のみの数となる。「抗精神病薬の単剤化率」は、統合失調症の幻聴や妄想を抑える抗精神病薬を、1種類だけ使う入院患者の割合。この割合が高い医療機関は、慎重な投薬を行っている傾向がある。外来患

病院の実力「精神科」

医療機関別2011年治療実績(読売新聞調べ)

医療機関名	新規患者数 (人)	抗精神病薬 の単剤化率 (%)	うつ病の認 知行動療法	統合失調症 のSST	依存症の家 族療法
国・呉	1173	65	○		
市立広島市民	1052	75	○		
福山市民	668	—			
国・賀茂精神	247	24			
広島市精神保健福祉セ	111※	—		○	○
広島厚生	—	—	○		
岡倉敷中央	250	—			

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター。「—」は無回答または不明。「○」は2011年に実施した精神療法。※は2010年度の数。県名欄の「岡」は岡山県

*全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。